

1. 2008 年度 (第 58 回) 定例総会・研究発表会報告 2. 10 月・12 月理事会関連事項  
3. 会員異動 4. 会誌規定の改正 5. 研究発表会の運営に関する内規の制定  
6. 会則の改正 7. 事務局移転のお知らせ

## 1. 2008 年度 (第 58 回) 定例総会・研究発表会報告

第 58 回定例総会・研究発表会は、さる 2008 年 10 月 11 日 (土)、12 日 (日) の両日、中京大学名古屋キャンパスで開催されました。10 月 11 日 (土) の午後開催された定例総会の主な内容は以下の通りです。

### (1) 第 5 回日本ロシア文学会学会賞表彰

井桁会長より高橋沙奈美氏と水野晶子氏に表彰状が授与された。

### (2) 会務報告

事務局より会員異動について報告があり、ついで新入会員の紹介が行われた。

### (3) 2007/2008 年度決算ならびに 2008/2009 年度予算案が事務局より報告され、承認された。

### (4) 会誌規定 (改正案) について

会誌別冊に関連する規定の改正が資料に基づき提案され、了承された。(新规定は 4 を参照)

### (5) 研究発表会の運営に関する内規 (案) および会則 (改正案) について

次年度以降の総会・研究発表会について組織委員会と実行委員会を立ち上げるために必要な内規と会則の改正が資料に従って提案され、内規、会則改正ともに了承された。(新しい内規、会則は 5、6 を参照)

### (6) 日本ロシア文学会倫理綱領 (案) について

倫理綱領第一次案 (学会 HP に公表) について資料に基づき趣旨説明がなされた。

### (7) 2009 年度総会・研究発表会について、筑波大学で 2009 年 10 月 24 日 (土)、25 日 (日) に開催されることが報告・承認された。

## 2. 10 月・12 月理事会関連事項

10 月の理事会は、10 月 11 日 (土) に中京大学名古屋キャンパスで、12 月の理事会は 12 月 13 日 (土) に東京外国語大学総合文化研究所で開催されました。主な報告事項および審議事項は以下の通りです。

### 10 月理事会

■会員異動 (退会 3 名) —— 「会員異動」の項参照。

■2007/2008 年度決算ならびに 2008/2009 年度予算案事務局より報告され、承認された。

■会誌規定 (改正案) について

会誌別冊に関連する規定の改正が資料に基づき提案され、了承された。

■研究発表会の運営に関する内規 (案) および会則 (改正案) について

次年度以降の総会・研究発表会について組織委員会と実行委員会を立ち上げるために必要な内規と会則の改正が資料に従って提案され、内規、会則改正ともに了承された。

■事務局業務整理のための WG の設置が提案され、承認された。

### 12 月理事会

■会員異動 (入会 2 名、退会 5 名、休会 1 名) —— 「会員異動」の項参照。

■2008 年度総会・研究発表会会計報告

開催校安村理事より報告があった。

■2009 年度総会・研究発表会及び組織委員会・実行委員会の構成と業務内容について提案がなされ、了承された。それぞれの構成員は以下の通り：

◎組織委員会：沼野光義 (委員長)、安藤厚、宇佐見森吉、白山利信、金田一真澄、寒河江光徳、楯岡求美、野中進、望月哲男

◎実行委員会：白山利信 (委員長)、加藤百合、沼野光義

## 3. 会員異動

[2008 年 10 月理事会 12 月理事会]

**入会：**〔氏名 (所属/支部) 専攻分野 (推薦者)〕

**木下裕子** (北海道 YMCA/北海道) ロシア文化 (宇佐見森吉、宇佐見多佳子)

**富田マルガリータ** (早稲田大学/関東) (ロシア文化、文学、ロシア語教授法 (伊東一郎、貝澤哉))

**休会：** 中川由美 (中部)

**退会：** 内村剛介 (関東)、小野理子 (関西)、尾松亮 (関東)、渡邊武 (北海道)、久保英雄 (中部)、栗生澤猛夫

(北海道)、高野雅之(関東)、橋本弘樹(中部)

#### 4. 会誌規定の改正

●日本ロシア文学会会誌規定(新規定)

5. 本誌の掲載対象は次のものとする。ただし、(ロ)(二)の一部または全部は別冊として発行することがある。

(イ)研究論文 (ロ)学会研究報告要旨 (ハ)書評  
(ニ)学会動静ほか

1968年10月制定 2008年10月最終修正

#### 5. 研究発表会の運営に関する 内規の制定

研究発表会の運営に関する内規

(組織委員会)

1. 日本ロシア文学会(以下「本会」という)は、研究発表会を円滑に運営するため、本会の理事会に組織委員会(以下「委員会」という)を設ける。
2. 委員会は、研究発表会の実施計画を作成し、理事会の承認を得て、その実施・運営にあたる。
3. 委員会は、委員長および若干名の委員によって構成する。委員は、理事会が委嘱する。委員長は委員の互選とする。委員長および委員の任期は、研

究発表会の1年前の理事会にはじまり、研究発表会終了後、理事会に活動報告を行っておわる。

(実行委員会)

4. 研究発表会を円滑に実施するため、委員会の下に、実行委員会を置く。
5. 実行委員会は、委員長および若干名の委員によって構成する。委員は、理事会が委嘱する。委員長は、研究発表会の開催校の会員をあてる。委員長および委員の任期は、研究発表会の1年前の理事会にはじまり、研究発表会終了後、理事会に活動報告を行っておわる。
6. 実行委員会は、研究発表会の実施のため、本会の予算から一定額の割当を受ける。

2008年10月制定

#### 6. 会則の改正

日本ロシア文学会会則(新会則)

第12条 理事会は、会長、副会長、理事、編集委員長、国際交流委員長、学会賞選考委員長、広報委員長、ロシア語教育委員長、組織委員長、実行委員長、事務局長をもって構成し、会の運営にあたる。

2008年10月修正

## 7. 事務局移転のお知らせ

2009年4月より日本ロシア文学会事務局は東京外国語大学より  
**創価大学に移転**します。(2011年3月までの予定。)  
新事務局の住所・連絡先は以下の通りです。

〒192-8577

東京都八王子市丹木町 1-236

創価大学 C 棟 304 号 寒河江研究室内

TEL & FAX: 042-691-4385

E-MAIL: [sagae@soka.ac.jp](mailto:sagae@soka.ac.jp)

日本ロシア文学会会報 第37号 (2009年3月20日発行)

発行人 井桁貞義 編集人 日本ロシア文学会事務局

〒183-8534 東京都府中市朝日町 3-11-1

東京外国語大学外国語学部匹田研究室内

[hikita@tufs.ac.jp](mailto:hikita@tufs.ac.jp)

(2009年3月まで)